

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
110038	X-01/21-A-1-110038	2	前期	【1年次生】国際学部国際文化学科	基礎	必修	1年
授業科目	担当教員			【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース	基礎	必修	1年
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科	基礎	必修	1年
地域研究論	小山田 紀子・安藤 潤・區 建英・神長 英輔・佐藤 若菜・申 銀珠・矢口 裕子			【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	基礎	必修	1年
				【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	基礎	選択	1年
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	基礎	選択	1年

授業目的

国際学部の1年生の皆さんは、1年後期から、ロシア、中国、韓国、アメリカのうち1つの地域を選択し、その地域の言語を中心に歴史、文化、社会、政治経済等について学ぶことになります。この授業はその準備として、地域研究というものの方法論的性格と、一通り各地域についての基礎的知識を学び、皆さんが自分の専門地域を選択する際の判断材料を提供することを目的とします。

各回毎の授業内容

第1回

【授】序論1：地域研究入門（小山田紀子）
【前・後】復習時間1時間。講義内容をノートにまとめて復習する。

第2回

【授】序論2：世界の中の日本（小山田紀子）
【前・後】復習時間2時間。講義内容をノートにまとめて復習する。

第3回

【授】ロシアの歴史（神長英輔）
【前・後】予習復習時間合わせて3時間。講義内容をノートにまとめて復習する。

第4回

【授】ロシアの文化（神長英輔）
【前・後】予習復習時間3時間。講義内容をノートにまとめて復習する。

第5回

【授】ロシアと日本（神長英輔）
【前・後】復習時間4時間。講義内容をノートにまとめて復習する。

第6回

【授】中国の概況と文化（佐藤若菜）
【前・後】復習時間3時間。講義内容をノートにまとめて復習する。

第7回

【授】日本と中国の関係（佐藤若菜）
【前・後】予習復習時間3時間。講義内容をノートにまとめて復習する。

第8回

【授】中国語という言葉（區建英）
【前・後】復習時間4時間。講義内容をノートにまとめて復習する。

第9回

【授】韓国語？朝鮮語？ハングル語？—韓国概況（申銀珠）
【前・後】復習時間3時間。講義内容をノートにまとめて復習する。

第10回

【授】韓国の政治・経済（申銀珠）
【前・後】予習復習時間3時間。講義内容をノートにまとめて復習する。

第11回

【授】韓国の歴史・文化（申銀珠）
【前・後】復習時間4時間。講義内容をノートにまとめて復習する。

第12回

【授】アメリカの社会（越智敬夫）
【前・後】復習時間3時間。講義内容をノートにまとめて復習する。

第13回

【授】アメリカの経済（安藤潤）
【前・後】予習復習時間4時間。講義内容をノートにまとめて復習する。

第14回

【授】アメリカの文化（矢口裕子）
【前・後】復習時間4時間各回のノートを見直して復習する。

第15回

【授】地域研究の総括と地域言語選択について（小山田紀子）
【前・後】復習時間2時間。地域言語選択について考える。

第16回

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート	○	○	○				100
授業態度・授業への参加			○				
成果発表（口頭・実技）							
演習							
その他							

ロシア・中国・韓国・アメリカの各地域の講義が終了するごとに、担当教員がレポートを課します。4地域すべてのレポートを提出しなければなりません。レポートの講評を、第15回の最後の授業で、4地域すべてについて説明します。

教科書参考書

各地域担当者が授業中に指示する。

受講に当たっての留意事項

大人数の授業になるので、私語はくれぐれも慎むこと。

学習到達目標

地域研究の分析視点を獲得し、各地域の基礎的知識を得ること。

JABEE

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習